



平成 27 年度 弥生成人式

平成28年1月10日(日) 於:ホテル日航金沢

お礼の言葉(要旨)

平成二十八年の新春を迎え、本日の成人の日にあたり、このような盛大な式典を催していただきありがとうございます。新成人一同を代表して心よりお礼申し上げます。

またご来賓の皆様からの心温まるお祝いと激励のお言葉をいただき、新成人としての喜びを噛みしめると共に、これから将来の責任の重さを痛感しております。

私たちの中には、すでに社会の一員として働いている者、学業を継続している者もおります。置かれた立場の違いはあれ、今日から社会人一年生として、皆様方の仲間入りをさせて頂くことになりました。私たちにできることは何かと考えてみました。それは一日一日を大切に、精一杯生きてゆくことだと思えます。その一生懸命の姿が誰かの励みになり、いつしか社会のためになることと思えます。

皆様から頂きました意義深い教訓を胸に刻み、社会という大海に船出していきたいと思えます。大人としての自覚を持ち、責任ある社会人として歩んでいくことをここにお誓い申し上げます。

新成人代表 松永悠里

目次

- ① ② 成人式
- ③ 新成人祝賀会
- ④ 成人への式辞祝辞
- ⑤ 松本市公民館来訪
- ⑥ ⑦ 文化祭
- ⑧ 事業の案内

弥生成人式



謝辞(お礼の言葉)
松永 悠里さん



市民憲章
中江 美帆さん



明るい選挙推進の決議
高田 誠さん



グッドマナー宣言
丸岡 拓さん



記念品を受け取る
渡邊圭祐さん



新成人69人(男性39人、女性30人)が参加

新成人の多くが誕生した1995年、日本はこれまでに体験したことのない激動の時を迎えた。

多くの人命が失われた阪神淡路大震災、地下鉄サリン事件……………。

このような社会情勢の中で誕生した新成人は、自ら輝きを放ち、周囲の人々を和ませていた。

その無邪気さと陽気さは、今ではすっかり影を潜めているが、この式で自分探しの人生を再スタートさせた。やがて、その本質に出会い自らに感動する 때가きつと訪れるであろう。

新成人祝賀会



剣地先生

私の中では、皆さんは小学生のままです。

閉校式で4階の教室を巡りながら、当時の思い出が蘇りました。



岩崎先生

総合学習では、新しい小学校校舎の理想像を専門家の助言を得ながら、共に考え創り上げたことです。



廣田先生

「当たり前のことを当たり前」、「そのレベルを落とさないように」と言い続けていたと思います。

主催者・来賓の挨拶(要旨)

山本 茂 館長

新成人となられた皆さんは人からこのように云われる事もあるかもしれませんが『若い人には可能性がある：いいね』と。

しかし、若いから無限の可能性があるので無く、チャレンジをするから可能性があるので私は思います。

皆さんに心から伝えたい言葉があります。

少しでも多くの知識と経験を積み重ねて行ってください。

そして恐れずに、目の前にあるあなたの方の信ずる道へチャレンジをし続けてください。

望みます、皆さんが一人残らずその胸を熱く踊らしつづける人生を歩める事を。



太村 正信

金沢市長代理

我が国が戦後七十年という歳月を通して平和を希求し続け、一人ひとりが自らのなすべきことに對して真摯に向き合いながら豊かな社会を築き上げてきた道のりには、ひたむきな思いが込められているのです。

どうか皆さんには、金沢の豊かな自然や薫り高い伝統文化に誇りを持つていただくとともに、みずみずしい感性とまっすぐな熱意をもつて、積極的にまちづくりに関わっていただき、このまちに新たな息吹を吹き込んでいただきたいと思います。

皆さんの前途には、時として辛いことや困難なことが待ち受けているかもしれませんが。しかし、一つ一つの経験が、皆さんのかけがえのない宝となるものと信じています。

相川 久嗣

町会連合会長

皆さん、成人おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。また保護者の皆さんはお子様のご成人に感慨入のこととお慶び申し上げます。

さて、昨年末に少年による痛ましい事件が起こりました。常識では考えられない事件が全国で相次いでいます。事件を起こした少年には人と対話しようという心が欠けていたのではないかと思います。対話とは心と心が通い合って初めて成り立つものです。

そして成人とは結果に責任を持てる人のことを言うのだと思います。

皆さん方は成人とは何であるかを自覚いただき、周囲と対話しながら、自分の信ずる道を邁進していられるよう切に祈っております。

谷本 正憲 知事

めでたく成人式を迎えられました皆さんに、県民を代表して心からお祝いを申し上げます。

「ローマは一日して成らず」という言葉もあるように、地道な努力の積み重ねなくして、大きな成功は得られません。

時には、思うように事が進まず、壁にぶつかり挫折を感じることもあると思いますが、そのようなときこそ、今一度足元を見つめ直し、自分自身の可能性を信じて、地に足を付けながら努力を重ねていけば、道は必ず開けるものと思います。

終わりに、皆さんの未来が、大きく飛躍し、「かがやき」を放つことを期待するとともに、社会の信頼に応えうる成人として活躍されますことを心から祈念申し上げます。

松本市公民館の館長会

33名が当館を視察

十一月十九日、長野県松本市公民館・館長会の館長三十三名一行が当館を視察しました。

同会の視察の目的は、「金沢方式」と言われるやり方を松本市内公民館全体として今後検討し生かしていくためとのことです。

最初に当館内を案内し、施設や事業の実態をつぶさに見ていただいた後、館長自ら心を込めて茶のお手前でもてなしました。

この後、弥生自主防災会の相川会長が自主防災を、市生涯学習課が「金沢方式」をそれぞれ説明しました。

その後、館長より弥生地区の特徴と活動実績を述べました。

これに対して松本市公民館・館長会から予算要求やボランティアスタッフの役割と仕事などとの両立ができるためにどのような対策を講じているかなど地元負担に対する質問に答えました。



金沢方式とは？

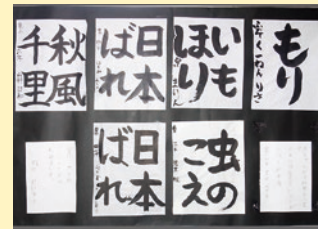
特色ある運営方式をとっており、地域の生涯学習の場として、極めて充実した活動を展開

1. 運営(維持管理、職員選任)を地域に委託
2. 地元ボランティアが公民館の活動を支える
3. 運営費や施設整備費の一定割合は地元負担



干支の押絵創作に励んでいる中、長野県松本市公民館・館長会の方々がその模様を見学された。突然の来訪者に受講者は緊張の面持ち。しかし、他の干支に比べ実に細かい作業を苦心しながら無事完成しました。

文化祭 作品展示



やよい

文化祭

11月1日(日)、館長のあいさつで、公民館文化祭の幕が開きました。



金沢兼六慰問隊3名の方による、唄、踊り、津軽三味線のステージが始まった。隊長は「滝の白糸」と金沢望郷歌「夢を抱く街金沢」を歌い、その後、藤田隊員による日本舞踊や白井隊員による津軽三味線演奏で日本情緒を堪能した。

ステージ上は続いて、マオリ・フラスタジオのメンバー5名による、フラダンスが始まった。

ハワイアン5曲のイメージに合わせ、ピンクや赤、あるいはブルーのコスチュームで当场、見る人をハワイへと誘い、会場はすっかり常夏の国の雰囲気となった。



2階児童館では、児童の演技発表があり、パトントワリング、一輪車、拳玉、大縄跳び、よさこいソーランと続いた。よさこいソーランでは、色鮮やかなはっぴを身にまとい、会場を所狭しとばかりに躍動。「どっこいしょ」の掛け声が勇ましく響き、無限のエネルギーに満ち溢れていた。



ステージが終わった3階のニュースポーツ体験、また2階のブラバン作成のコーナーは子供たちで賑わい、そのあとのくじ引きコーナーは大盛況であった。



福祉バザーは、割安感のあるお手頃な品がズラリと並び、売り手は大忙し

野菜の具がたっぷり入った美味しいダシの豚汁大好評、食券を買い求める行列ができた。



軽食コーナーでは、温かい豚汁とおにぎりをいただきながら、楽しい会話に花が咲く。

事業の紹介

少年

7月12日、「3世代グランドゴルフ大会」を開催。小学生、大人、指導者、育成スタッフが参加。弥生グラウンドゴルフクラブの指導で、ポールポストへ向けてボールを打ち、気持ち良い汗を流しました。

泉小学校グラウンドで初めて行う大会のため、準備には苦労しましたが、本番ではスムーズに進行ができました。



スポーツ

快晴の10月25日、泉中学校グラウンドで弥生公民館シルバーソフトボールクラブは、新堅町公民館と交歓試合を行いました。高齢者とは思えぬ守備や打撃ありと思えば、珍プレー・凡ミスも続出。しかし、互いの友好を深めることが出来ました。試合は7対4で新堅が勝利。



弥生公民館



新堅町公民館

シルバー世代

8月3日、金沢を中心に活躍のソプラノ歌手・直江学美さんとピアニスト・田島睦子さんを迎えてデュオコンサートを開催。

星稜大学こども学科准教授でもある直江さんの優しいトークと伸びやかな声そして3年前に岩城音楽賞を受賞の田島さんの魅力的なピアノの音を十分に堪能できました。



直江学美さん



田島睦子さん

女性

11月13日、マナビー号に乗り、柳宗理デザイン研究所、泉鏡花記念館、金沢湯涌江戸村、金沢湯涌夢二館を巡りました。

各所にて学芸員、村長、館長から大変興味深いお話を聞くことができ、金沢文化への知識が少し広がる見学会でした。



柳宗理の作品に触れる



江戸村の村長から説明を受ける

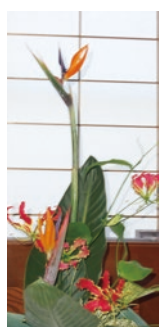
写真

9月3日から30日まで、写真教室の受講者全員による作品展を芦中郵便局で開催。目的は人が本来持っている感性を引き出して表現するためです。同展には、これまで講師を務められた方々も鑑賞に訪れました。



文化

守作青暢先生による「俳画教室」を受講すると、創作の楽しさが増ってきて、何かしらほのぼのとした感じとなります。少しずつ受講を希望する人も増えています。



雪のない穏やかな新年を迎えました。後半からの寒波の到来は、暖冬に慣れきった我が身に応えます。でもはや立春、春の訪れも間近です。インフルエンザ流行の兆し、皆様どうぞご自愛ください。(東)



いつごろだったか「消えゆく町会」というテーマのドキュメント番組があり、個人主義が多くなっている現代に警告を投げかけていたが、公民館の活動を広報誌「館報やよい」を通じて沢山のの人に知ってもらえれば、地域の絆になるのではないかと思っております。新年も楽しく読みやすい広報誌を目指して活動したいと思います。(室)

編集後記